

覚えているかな

◎理科の学習で使う器具の使い方について、() に当てはまる正しい語句を から選んで書きましょう。(同じ語句を何度使ってもいいです。)

(1) 方位じしん

- ①方位じしんが() になるように手のひらに置き、はりの動きが止まるまで待つ。
 ※止まったときにmはりの色のついている先がさしている向きが()。
- ②ケースを回して、はりの色のついている先の向きと文字ばんの() の向きを合わせる。
 ポイント () のそばに置かない。

南	北	東	西	平ら	ななめ
---	---	---	---	----	-----

(2) 虫めがね (動かせるものを見る時)

- ①() を目の近くに持つ。
- ②() を() に近づけたり遠ざけたりして、はっきりと見えるところで止める。

(3) 虫めがね (動かさないものを見る時)

- ①() を目の近くに持つ。
- ②() に近づいたり遠ざかったりして、はっきりと見えるところで止まる。

実際に見るものや虫めがねがあるつもりで、手や体を動かしながらたしかめよう!

虫めがね 見るもの

(4) ガスこんろ

【準備】

- ・() 安定した場所に置く。
 - ・ガスボンベを切れこみにそってカチッと音がするまで入れる。
 - ・ぬらした() を用意する。
- ① 火をつける。
 火力を調節するつまみをカチッと音がするまで() のほうに回して、火をつける。
- ② 火力を調節する。
- ③ 火を消す。
 つまみを() まで回して、火を消す。
 ガスボンベを外したら、もう一度つまみを() まで回して、中に残った() を燃やす。

点火 消 空気 ガス 平らな ぞうきん マッチ

(5) 検流計

① 切りかえスイッチを () 側に入れる。

② 回路のどちゅうにつなぐ。

③ 回路に電流を流す。

検流計のはりのふれる向きが () の向きになる。

④ はりの示す目もりが 0.5 より小さいときは、切りかえスイッチを () 側にする。

注意 検流計だけをかん電池につないではいけない。

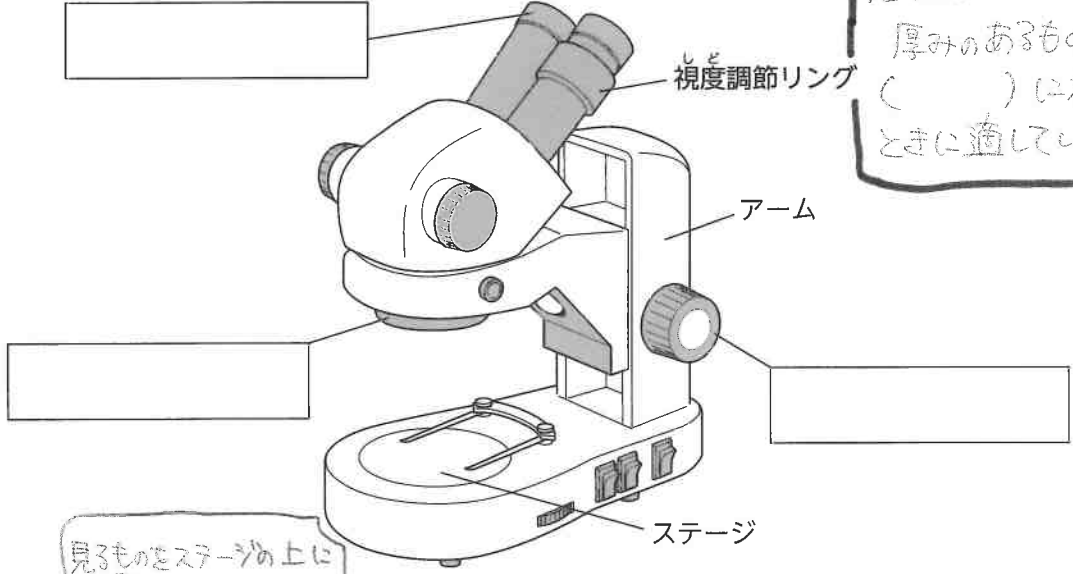
→それはなぜですか？

電磁石 (5A)	じしゃく	豆電球 (0.5A)	電流	空気
----------	------	------------	----	----

*教科書を見れば分かるので、答えはありません

そう眼実体けんび鏡の使い方

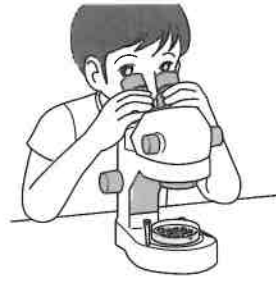
各部分の名前



()ものを大きくして
見ることが出来る。
厚みのあるものを
()に観察する
ときに適している。

使い方 見るものをステージの上に置く。

① ()レンズのはばをおおよそ目のはばに合わせ、
()で見る。
見えているものが1つに重なるように、
はばを調節する。



② ()目でのぞきながら()を回して、
はっきり見えるように調節する。
()目でのぞきながら、()を回して、
はっきり見えるように調節する。



③ 観察したい部分が、対物レンズの()に
くるようにして観察する。



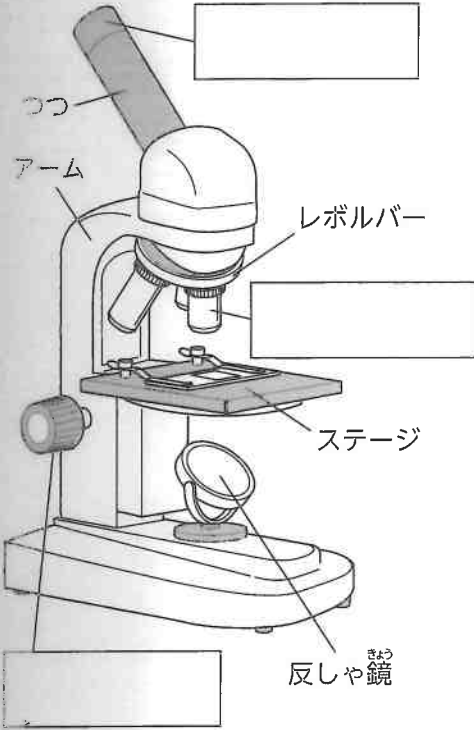
組

けんび鏡きようの使い方

小さなものを
大きく見る。

名前
教 P202

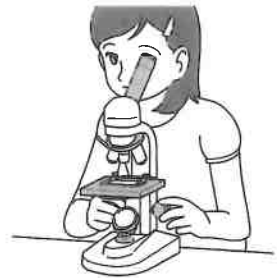
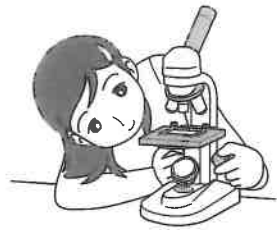
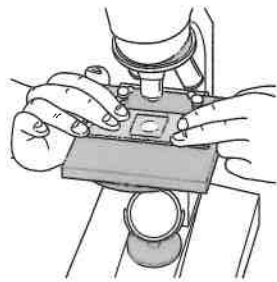
各部分の名前



注意
目をいためるので、
()の当たらない
明るいところに置いて使う。

使い方

- ① 対物レンズを一番
()倍率にする。
()レンズをのぞき
ながら、反しや鏡の
向きを変えて、
見えるようにする。
- ② ()を
ステージの上に置き、
観察したい部分が、
あなの ()にくる
ようにする。
- ③ ()から見ながら
調節ねじを少しずつ
回し、対物レンズと
スライドガラスの間を
できるだけ ()する。
- ④ ()レンズをのぞき
ながら調節ねじを回し、
()レンズと
スライドガラスの間を
少しずつ ()
ピントを合わせる。
- ⑤ 対物レンズや接眼レンズを変えて、()を
変える。



けんび鏡を運ぶときは、
()と ()を
変えて持つ。

倍率を高くすると、
より () 見える。



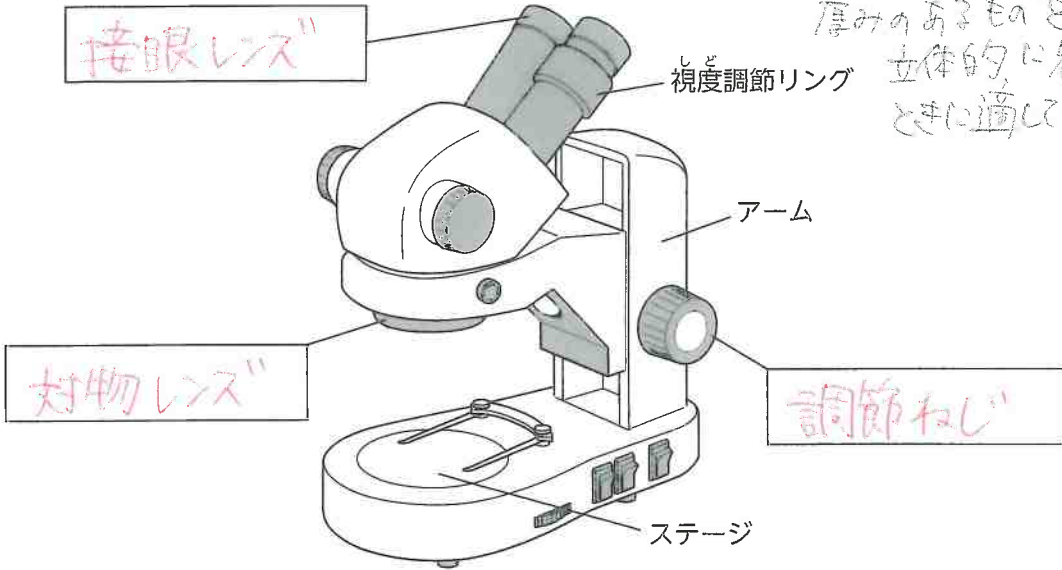
接眼レンズの倍率 × 対物レンズの倍率

そう眼実体けんび鏡の使い方

名前

各部分の名前

小さいものを大きくして
見ることが出来る。
厚みのあるものを
立体的に観察する
ときに適している。



使い方

- ① 接眼レンズのはばをおおよそ目のはばに合わせ、
両目で見る。
見えているものが1つに重なるように、
はばを調節する。
- ② 右目でのぞきながら調節ねじを回して、
はっきり見えるように調節する。
左目でのぞきながら、視度調節リングを回して、
はっきり見えるように調節する。
- ③ 観察したい部分が、対物レンズの真下に
くるようにして観察する。



② 2

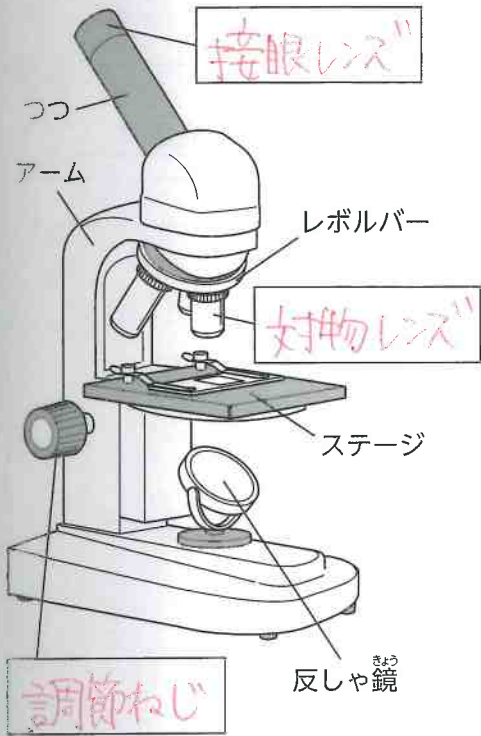
けんび鏡きょうの使い方

答え

組

名前

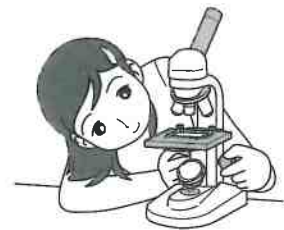
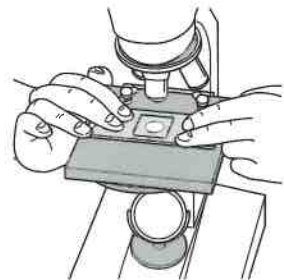
各部分の名前



注意
目をいためるので、直しや日光の当たらない明るいところに置いて使う。

使い方

- ① 対物レンズを一番低い倍率ばいりつにする。
接眼レンズをのぞきながら、反しや鏡の向きを変えて、明るく見えるようにする。
- ② スライドガラスをステージの上に置き、観察したい部分が、あなの中央にくるようにする。
- ③ 横から見ながら調節ねじを少しずつ回し、対物レンズとスライドガラスの間をできるだけせまくする。
- ④ 接眼レンズをのぞきながら調節ねじを回し、対物レンズとスライドガラスの間を少しずつ広げて、ピントを合わせる。
- ⑤ 対物レンズや接眼レンズを変えて、倍率を変える。



けんび鏡を運ぶときは、
(アーム)と(底)と
支えて持つ。

倍率を高くすると
より(大きく)見える。